

# 診療報酬算定フローチャートの制作による 医療事務の学習効果の検証

藤井 厚紀\*, 石橋 慶一\*

## Learning Effects of the Medical Treatment Based on the Medical Fee Calculation Flowchart

Atsunori FUJII\*, Keiichi ISHIBASHI\*

In this research, we examined the effectiveness of promoting the learning of medical treatment by making a flowchart of medical fee calculation rule. As a result of comparing the results of pre-post tests on knowledge and skills regarding the medical fee calculation, at least half of the students' performance was improved, and a remarkable improvement was recognized particularly in the first scholars. In addition, it was shown that more than 70% of the students had a positive impression of the flowchart production exercise. These results suggest that the introduction of a medical fee calculation flowchart in medical office classes may be effective in promoting the learning especially in the first scholars.

キーワード：医療事務，診療報酬点数表，算定ルール，フローチャート，医事会計システム

### 1. はじめに

近年，医療現場において医事会計システムや電子カルテシステムが着実に普及し，医療事務職における診療報酬請求業務の効率化が進んでいる<sup>(1)</sup>。とりわけ，医事会計システムへの診療報酬項目の入力や，電算処理により作成された診療報酬明細書（以下：レセプト）の点検など，コンピュータにより完全に自動化されていない作業について，医療事務従事者の果たす役割は大きい。これらの作業を遂行するためには，診療報酬に関する専門的知識のみならず，その知識を活用したITスキルが必要不可欠となる。このように，医療のIT化に対応した医療事務職として求められる知識やスキルは，今後ますます高度になると予想される<sup>(2)(3)</sup>。

こうしたなかで，医療事務職養成を目的とする短期大学などにおいて，診療報酬に関する知識とITス

キルの双方について，体系的かつ効果的に学習していくためのカリキュラム設計の試みがなされている<sup>(4)~(6)</sup>。しかしながら，医療事務の授業内容の拡大充実化に対するニーズの高まり<sup>(3)</sup>がある一方で，学生の医療事務の学習に対する意欲の低下<sup>(7)</sup>などが指摘されており，その実現に向けては多くの課題があると考えられる。

ところで，医療事務を学ぶ学生に着目した研究報告<sup>(8)</sup>を概観すると，学習者がしばしば困難に遭遇する場面は，診療報酬算定のルールの学習であると推察される。これまでの医療事務の授業では，「診療報酬点数表」<sup>(9)</sup>などに代表されるテキストを用いて，講義形式により学習を進めるのが一般的であった。診療報酬項目および各項目の算定ルールの数は膨大であることや，それらの内容は定期的に改定されることなどが，医療事務の学習を困難にしている理由と考えられる。こうした学習内容に対して，各算定ルールの内容

\*福岡工業大学短期大学部（Fukuoka Institute of Technology, Junior College）

受付日：2017年6月22日；再受付日：2017年8月29日；採録日：2017年9月28日